

令和6年度 アーツ前橋事業評価調書

資料 2-(4)

基本事項	事業名	あ一つひろば					
	事業1	時期・日数	あ一つひろば(講師:山形敦子) 細胞銀河 2024年6月16日(日)	会場	交流スペース	人数	参加者:69名 サポーター:10名
	事業2	時期・日数	サポーターミーティング 2024年7月13日(土)	会場	スタジオ	人数	サポーター:8名
	事業3	時期・日数	成果展示「細胞銀河」 2024年6月26日(水)~8月25日(日)	会場	交流スペース	人数	
	事業4	時期・日数	あ一つひろば(講師:サポーター) 2024年8月3日(土)	会場	交流スペース	人数	参加者:38名 サポーター:10名 実習生:5名
	事業5	時期・日数	あ一つひろば成果展示 8月3日(土)~8月23日(金)	会場	元気21連絡通路	人数	
	事業6	時期・日数	あ一つひろば(講師:サポーター) 2024年3月8日(土)	会場	交流スペース	人数	参加者:50名 サポーター8名
	担当者	学芸:辻瑞生、東美沙季 事務:石井令奈					
	目的・目標 (総括表)	1. サポーターによる多様な芸術体験を通して、来館促進を行い、将来の自主的な鑑賞者を育成する。 2. サポーターが企画・運営のノウハウを身につける。					
	キーワード	アーツ前橋への第一歩、親子連れの来館、サポーター主体の活動					
① 投入 (支出) ・ ③ 結果 (収入)	他団体との連携 (共催、協力等)	サポーター					
	参加作家	山形敦子					
	印刷物等	チラシ(A4)	ポスター				
		150枚程度	15 部	※インハウス印刷			
	財務指標	収入(A) 別表から転載	支出(B) 別表から転載	収支比率 (A)/(B)	一人当たり コスト	収入内訳	
						参加費	助成金
		予算	-	408,660 円	-	-	-
		決算見込	-	117,500 円	-	-	-
		差額	-	-291,160 円	-	-	-
	予算/決算	-		28.8%	-	-	-
② 内容 ・ 活動	[②内容] 事業の概要	事業の概要 (転記)	サポーター等と協働しながら当館に親しみ、多様な芸術に触れるワークショッププログラムを実施				
		・広報戦略 ・新たな試み (転記)	・まちなかのイベントとの連携や季節イベントと連携し、広報活動を効果的に行う。 ・インスタグラムによる開催告知やイベント報告を投稿した。				
	[②活動] 主な取組(手段) の結果 ・メディア等広報実績 ・新たな試み ・関連イベント ・助成など	広報実績 [新規掲載や 効果が大き かった媒体な ど、特別な案 件]	「あ一つひろば」の案内チラシを館内に設置するほか、こども図書館に配布。				
		●指標 来館者反応 手ごたえ アンケート	年度末にはリピーターで来てくれるご家族の方が増えた。				
		新たな試 みの実績					
③ 結果	数値目標	指標1	目標	実施回数:3回	実績	あ一つひろば回数:3回、その他活動あり	
		指標2	目標	参加者数:100人	実績	参加者数:人 198人	
	進捗管理 [スケジュール観]	A.概ね円滑に進んだ B.遅延気味であった(内容:)					

令和6年度 アーツ前橋事業評価調書(2)

	事業名	あ一つひろば				
④ 成 果	〔④成果〕 期待に対する結果 ・観覧者層のターゲット ・ねらい	観覧者層のターゲット (転記)	ターゲット: 当館に来館したことの無い親子(隣接施設利用者等)			
		成果	元気21の連絡通路に作品を展示したり、プレイルームやことも図書館でチラシを配布したことから通りすがりに参加してもらうことが増えた。			
		ねらい1 (転記)	①初めて来館して造形活動や鑑賞を体験しながら、当館は自己や他者の表現が認められる場所であることを理解する			
		成果	6月の「あ一つひろば」ではアーティスト、参加者同士、スタッフと交流を図りながら、楽しんで作品を制作しているようであった。また8月に開催した際は制作した作品を元気21の連絡通路に展示することで、他の参加者が作った作品も鑑賞することができた。			
		ねらい2 (転記)	②ソポーターが企画や運営へ継続的に関わる。			
		成果	8月と3月の「あ一つひろば」の企画「ウマくなくてもいいスタジオ」は、ソポーターの自主的な活動を促す目的で行っており、ソポーターが企画のアイデアを出したり、運営に関わっている。今回、8月は荒井良二展のため旅をする気分で乗り物制作と絵本作り、3月ははじまりの感覚展に合わせ音を体感できるような作品制作や、目隠された物を触るコーナー、展示絵本などをソポーターが工夫し運営した。			
		ねらい3 (転記)	-			
		成果	-			
⑤ 波 及 効 果	個別評価 ※記入日を()内に入れてください ※概ね1年経過毎に再確認して修正	<1~6は、記入項目の例・無い場合は削除。独自の評価項目の設定可。記入日を記載>				
		1. 参加作家のその後の活動を評価⇒後日記入				
		2. アーツの事業に対して、誰がどのような価値を見出したのかを評価 ⇒毎回「あ一つひろば」の開催を心待ちにしているという参加者の声も聞かれた。				
		3. 事業関係者(作家、運営、イベント参加者、地域住民)たちとの間で生まれた交流やその後の関係性の構築を評価⇒ソポーターの自主企画「ソポーターの美術」が継続的に開催されている。				
		4. 事業の実施に伴う波及効果⇒後日記入				
		5. 地域資源の活用という点での効果⇒後日記入				
		6. 意図せざる(思わぬ)効果⇒後日記入				
自己評 価 (担当者)	効率性 ①:③ 事業が効率的だったといえるか	1.非常に良い	<input type="radio"/>	2.良い	3.普通	4.劣る
	合目的性 ②:④ 事業の目的を達成したといえるか	1.非常に良い	<input type="radio"/>	2.良い	3.普通	4.劣る
	事業の将来性 ②:⑤ 館の事業に対し将来性があるか	1.非常に良い	<input type="radio"/>	2.良い	3.普通	4.劣る
	社会的将来性 ③:⑤ 社会への影響に将来性があるか	1.非常に良い	<input type="radio"/>	2.良い	3.普通	4.劣る
	課題・改善点	・一斉での新規募集を行っていないため、ソポーター高齢化が進んでいる。新規募集するにあたって、ソポーター制度について目的や意義を職員間で再確認したい				
	引継ぎ事項 (特記事項)					
コメント・意見	館長 副館長	年間の周辺イベント日程等を考慮しソポーターの協力を得ながら来館者参加のワークショップを開催することができた。また、他の団体と連携するなど工夫することで参加者も伸びている。学芸員の充足を図る中で、教育普及事業のさらなる充実を検討していく必要がある。				
	運営 評議会					